



タッチパネルコントローラー VESA マウントモデル

RXT-VS シリーズ

RXT-10VS / RXT-15VS / RXT-21VS

<ユーザーズガイド>

取扱説明書 Ver.1.0.0

- この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- 本製品の性能を十分に引き出してご活用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

商標について

- ETHERNET とイーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。なお、本文中において、[®]マークや[™]マークを省略している場合があります。

この取扱説明書をお読みいただく前に

- この取扱説明書の無断転載を禁じます。
- お客様がお持ちの製品のバージョンによっては、この取扱説明書に記載される外観図などが一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 取扱説明書は改善のため、事前の予告なく変更することがあります。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードすることができます。

<http://www.arvanics.com>



安全上のご注意







製品をご使用前に必ずお読みください。

この取扱説明書には、お客様や他の人への危害や損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。


「警告」、「注意」、「記号」の意味

表示	表示の意味
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号	図記号の意味	記号例
 注意	この記号は、警告・注意を促すことを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容が描かれています。	 感電注意
 禁止	この記号は、禁止行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容が描かれています。	 分解禁止
 指示	この記号は、行為を強要したり指示したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容が描かれています。	 プラグを抜く



警告

■重い製品を持ち上げるときは





 指示	<p>●持ち上げるときは2名以上で作業する</p> <p>製品を持ち上げる時、膝を伸ばしたまま腰を曲げて持ち上げる動作は、腰への負担が非常に強く危険です。片足を少し前に出して膝を曲げ、腰を十分に降ろしてから、身体を製品に近づけて身体全体で持ち上げるようにしてください。</p> <p>一人での持ち上げは負傷を招く原因となります。</p>
---	--

⚠ 警告


■設置・接続するときは

 禁止	<p>●不安定な場所に置かない 水平で安定したところに設置してください。本体が落下・転倒してけがの原因になります。</p> <p>●振動のある場所に設置するときは固定する 振動で本体が移動・転倒し、けがの原因になります。</p>
 指示	<p>●据付工事は技術・技能を有する専門業者が行う 技術・技能を有する専門業者が据え付けを行うことを前提に販売されているものです。据え付け・取り付けは、必ず工事専門業者または弊社営業部までお問い合わせください。火災・感電・けが・器物破損の原因になります。</p> <p>●電源プラグは、コンセントから抜きやすいように設置する 万一の異常・故障のときや、長時間使用しないときなどに役立ちます。</p> <p>●電源プラグは指定電源電圧のコンセントに根元まで確実に差し込む 差し込み方が悪いと、発熱により火災・感電の原因になります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。</p> <p>●機器を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜く 機器をケーブルで接続するときは、長距離伝送接続なども含めて、関係するすべての機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。その後に、各機器の信号・制御ケーブルを接続し、各機器の電源プラグをコンセントに接続してください。 本体と他の機器との接地電位差により、火災・感電または機器の破損が発生する場合があります。</p>

■お使いのときは

 禁止	<p>●異物をいれない 通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災・感電の原因になります。</p> <p>●電源コード・ACアダプターは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傷つけたり、延長するなど加工したり、過熱したりしない ・引っ張ったり、重いものを乗せたり、はさんだりしない ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない <p>そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。電源コード・ACアダプターが傷んだら、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
 分解禁止	<p>●修理・改造・分解はしない 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。内部の点検・調整・修理は、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
 接触禁止	<p>●雷が鳴り出したら本体と、本体へ接続されたケーブル類には触れない 感電の原因になります。</p>
 指示	<p>●電源プラグの埃などは定期的にとる 電源プラグの絶縁低下により、火災の原因になります。</p>




■もしものときは

 プラグを抜く	<p>●煙が出ている、異音、異臭がするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。</p> <p>●落下などにより本体が破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電・けがの原因となります。点検・修理については、弊社営業部までお問い合わせください。</p> <p>●内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。</p>
--	---





注意

■設置・接続するときは

 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●温度の高い場所に置かない 直射日光が当たる場所や温度の高い場所に置くと火災の原因になります。 ●埃・油煙・湿気の多い場所に置かない 埃の多い場所や、加湿器のそばに置くと、火災・感電の原因になります。 ●通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。 ●本体の上に重いものを置かない 倒れたり落ちたりしてけがの原因になります。 ●コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因になります。
 <p>ぬれ手禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。
 <p>指示</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●温度と湿度の使用・保存範囲を守る 範囲を超えて使用を続けた場合、火災・感電の原因になります。 ●海拔 2,000 m 以上の場所に設置しない 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。 ●ラックへ設置するときは、上下に空冷のための隙間を空ける (ラックへ設置できる製品の場合) EIA 相当のラックに設置してください。設置をするときは、上下に空冷のための隙間を空けるよう考慮してください。 また本体を平均的に支えるため、市販の L 型サポートアングルとラック取付金具との併用をお勧めします。 ●ゴム足を取り外した後に、ねじだけをねじ穴に挿入しない (ゴム足付き製品の場合) ゴム足を取り外した後に、ねじだけをねじ穴に挿入することは絶対にお止めください。内部の電気回路や部品に接触し、故障の原因になります。再度ゴム足を取り付ける場合は、付属のゴム足とねじ以外は使用しないでください。

■お使いのときは

 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●付属の電源コード・AC アダプター以外のものは使用しない ●付属の電源コード・AC アダプターは本製品専用のため、他の製品には使用しない 不適合により、火災・感電の原因になります。
 <p>プラグを抜く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く 万一故障したとき、火災の原因になります。 ●お手入れのときは、電源プラグ・AC アダプターをコンセントから抜く 感電の原因になります。

目次

1	同梱物の確認	8
2	製品概要	9
3	特長	10
4	各部の名称とはたらき	11
4.1	RXT-10VS/ RXT-15VS/ RXT-21VS のフロントパネルおよびリアパネル	11
5	ウェブセットアップページ	12
5.1	Setup	13
5.1.1	Time Settings	14
5.1.2	Network Settings	15
5.1.3	Security Settings	15
5.1.4	Port Setup	16
5.1.5	Device Settings	17
5.2	Diagnostics	19
5.2.1	System Information	20
5.2.2	Serial Port Diagnostics	22
5.3	Files	23
6	Kiosk メニュー	24
7	製品仕様	25
8	正常に動作しないときは	26

1 同梱物の確認

以下の同梱物がすべてそろっているかご確認ください。

万一、同梱物に不備がありましたら、お手数ですが弊社の本社営業部または各営業所までご連絡ください。

- ・ RXT-10VS / RXT-15VS / RXT-21VS 本体 1 台
- ・ 取扱説明書 (本書) 1 冊

2 製品概要

RXT-VS シリーズは、VESA マウント型のタッチパネルコントローラーです。

Aurora 社が開発したオープンプラットフォームの制御システム、ReAX™にて設定、動作可能です。

タッチパネルのサイズは 10.1 インチ、15.6 インチ、21.5 インチの、計 3 種類を取り揃えています。

また内部 Web サーバーにより、携帯電話やコンピューターなどのリモートデバイスから制御が可能です。

3 特長

以下は、本機の特長です。

- ・ Android™ Dual Core プロセッサー
- ・ ReAX™ Core Engine
- ・ HDMI x1 ポート
- ・ USB Type-A x1 ポート (HID)
- ・ USB Type-C x1 ポート (HID)
- ・ 1G LAN (PoE)
- ・ 内蔵 ウェブサーバー
- ・ 内蔵 セットアップウェブページ
- ・ 最大消費電力 約 32 W (21.5 インチモデル)

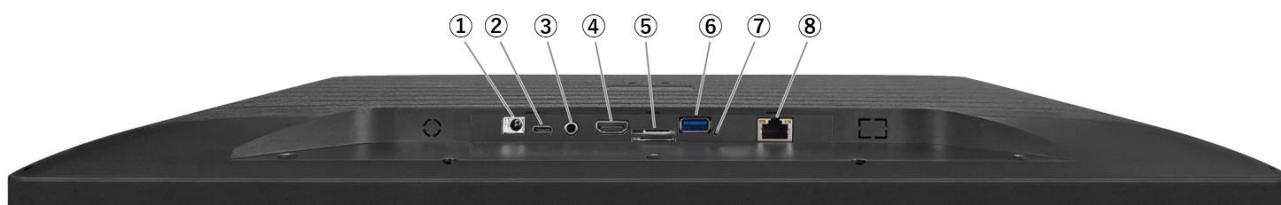
4 各部の名称とはたらき

4.1 RXT-10VS/ RXT-15VS/ RXT-21VS のフロントパネルおよびリアパネル

正面



背面



番号	名称	説明
①	電源	※本機は PoE のみ対応の為、使用しません。
②	USB Type-C	USB Type-C デバイスを接続するコネクタです。 HID にのみ対応しています。
③	Line Out	音声出力に使用するコネクタです。
④	HDMI Out	HDMI 映像出力に使用するコネクタです。 本機の映像を複製出力します。
⑤	MicroSD カード	MicroSD カードを接続するコネクタです。
⑥	USB Type-A	HID デバイスの接続に使用するコネクタです。
⑦	Reset	メンテナンス用途の為、使用しません。
⑧	LAN (RJ-45)	LAN の機器を接続するコネクタです。 電源はこのコネクタにて PoE で給電されます。

5 ウェブセットアップページ

RXT-VS シリーズのウェブセットアップページは、<IP Address of unit>/setup から設定することが可能です。

例: 192.168.1.100/setup

【デフォルト値】

IP アドレス :192.168.1.100
Default User : admin
Password : admin



5.1 Setup

このページでは本機のファームウェアバージョンとシリアル番号の確認や、ネットワークなどの各種設定が可能です。



5.1.1 Time Settings

Time Settings ページでは、本機の内部時計の日付と時刻に関連するパラメータを設定できます。

The screenshot shows the 'Setup - Time' configuration page. It includes a header with 'Setup', 'Diagnostics', and 'Files' tabs, and a 'Logout' button. The main content area is divided into sections for 'Firmware Version', 'Serial Number', 'Date/Time', 'Time Zone', 'NTP Server', and 'NTP Status'. Each section has a label and a corresponding input field or control. The 'Date/Time' section has dropdown menus for month, day, year, hour, minute, and second. The 'Time Zone' section has a dropdown menu and a checkbox for 'Uses 24-hour style to display Time'. The 'NTP Server' section has a text input field and a 'Set NTP Server' button. The 'NTP Status' section has radio buttons for 'Enable' and 'Disable', with 'Disable' selected. An 'Apply' button is located at the bottom of the page.

Date/Time:

表示されているボックスを使用し現在の日付と時刻を入力、[Set Date and Time]をクリックし設定を適用します。

Time Zone:

本機の現在のタイムゾーンを設定します。
ドロップダウンリストよりタイムゾーンを選択し、[Set Time Zone]をクリックし設定を適用します。

Uses 24-hour style to display Time:

本機に表示される時刻を 24 時間形式に変更する際は、この項目にチェックを入れます。

NTP Server:

任意の NTP サーバーを入力し、[Set NTP Server]をクリックし設定を適用します。

NTP Status:

NTP サーバーの使用を有効、または無効に設定します。
Enable/Disable 選択後、[Apply]をクリックし設定を適用します。

5.1.2 Network Settings

Network Settings ページでは、本機のネットワーク構成に関連するパラメータを設定できます。

The screenshot shows the 'Setup - Network' page. At the top, there are tabs for 'Setup', 'Diagnostics', and 'Files', and a 'Logout' button. The page displays the following information and settings:

- Firmware Version :** RXT-8_0.1.4 Nov 21 2022
- Serial Number :** [Redacted]
- MAC Address :** [Redacted]
- DHCP :** Enable Disable
- IP Address :** 192 . 168 . 24 . 199
- Subnet Mask :** 255 . 255 . 255 . 0
- Default Gateway :** 192 . 168 . 24 . 254
- DNS Address :** 127 . 0 . 0 . 1
- Submit changes** button
- Host name :** rxt8-0004 **Change HOST** button

5.1.3 Security Settings

Security Settings ページでは、本機の管理者パスワードを変更できます。

The screenshot shows the 'Setup - Security' page. At the top, there are tabs for 'Setup', 'Diagnostics', and 'Files', and a 'Logout' button. The page displays the following information and settings:

- Firmware Version :** RXT-8_0.1.4, Nov 21 2022
- Serial Number :** [Redacted]
- Admin Password :**
 - Old password
 - New password (Max 8 characters)
 - Confirm new password (Max 8 characters)
- Change PW** button

5.1.4 Port Setup

Port Setup ページでは、シリアルポートの設定を変更できます。

Setup - Ports

Setup Diagnostics Files
Logout

Select Port to set up: [SERIAL] - [IR]

Parameter	Setting
Baud	<input type="radio"/> 300 <input type="radio"/> 600 <input type="radio"/> 1200 <input type="radio"/> 2400 <input type="radio"/> 4800
	<input type="radio"/> 9600 <input type="radio"/> 19200 <input type="radio"/> 38400 <input type="radio"/> 57600
	<input checked="" type="radio"/> 115200
Parity	<input checked="" type="radio"/> None <input type="radio"/> Odd <input type="radio"/> Even
Data Bits	<input checked="" type="radio"/> 8 <input type="radio"/> 7
Stop Bits	<input checked="" type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2
Handshaking	<input checked="" type="radio"/> None <input type="radio"/> Software
<input type="button" value="Save Port Settings"/>	

Parameter	Setting
Baud	<input type="radio"/> 300 <input type="radio"/> 600 <input type="radio"/> 1200 <input type="radio"/> 2400 <input type="radio"/> 4800
	<input type="radio"/> 9600 <input type="radio"/> 19200 <input type="radio"/> 38400 <input type="radio"/> 57600
	<input checked="" type="radio"/> 115200
Parity	<input checked="" type="radio"/> None <input type="radio"/> Odd <input type="radio"/> Even
Data Bits	<input checked="" type="radio"/> 8 <input type="radio"/> 7
Stop Bits	<input checked="" type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2
Handshaking	<input checked="" type="radio"/> None <input type="radio"/> Software
<input type="button" value="Save Port Settings"/>	

SERIAL

Port 1:

Refresh

SERIAL

Port 2:

Refresh

5.1.5 Device Settings

Device Settings ページは、本機のハードウェア関連設定を構成する際に使用します。

Front Panel Volume:

内蔵スピーカーの音量を設定します。

Line out Volume:

ライン音声出力の音量を設定します。

Mute/Unmute:

音声出力のミュート、ミュート解除を設定します。

LCD Brightness:

液晶ディスプレイの明るさを調整します。

LCD Brightness Timeout:

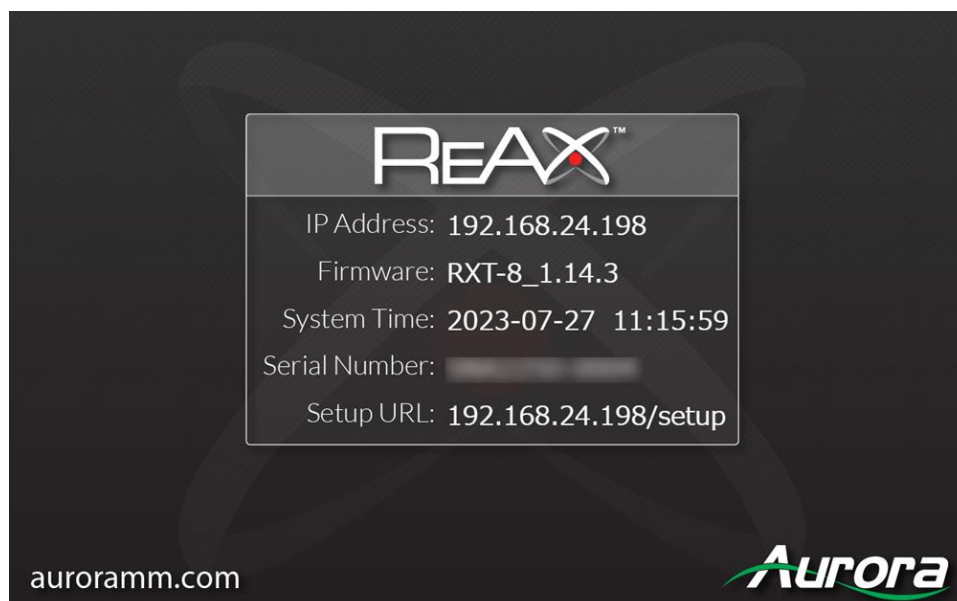
液晶ディスプレイの点灯時間を設定します。

LED Ring Colour:

フレーム周囲の LED ライトの色を設定します。Apply ボタンで設定を適用します。

Kiosk Homepage:

本機の液晶ディスプレイに表示するキオスクモードの URL を設定します。工場出荷時には、デフォルトのホーム画面 (<http://localhost/home>) が設定されています。デフォルトのホーム画面には IP アドレス、ファームウェアバージョン、システム日時、シリアル番号、セットアップ URL など、本機の基本情報が表示されます。



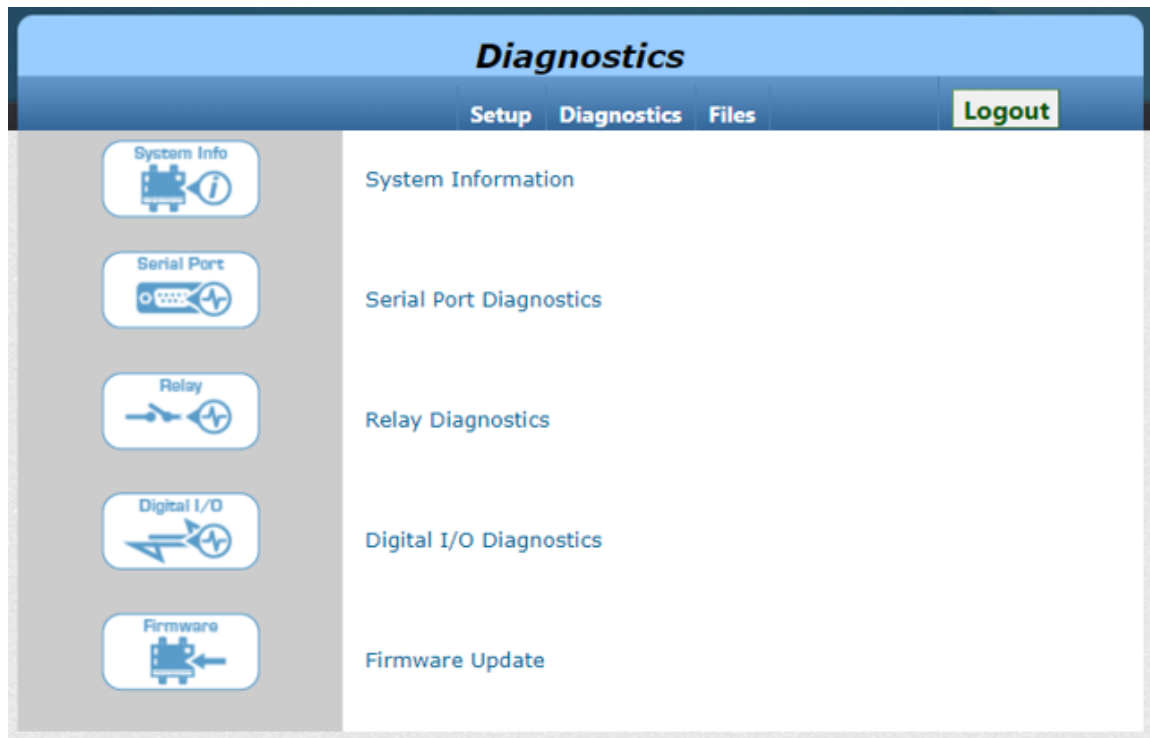
Core Studio プロジェクトを本機にパブリッシュすると、データは web サーバディレクトリ (wwwpub/Interface) に配置されます。液晶ディスプレイに Core Studio プロジェクトを表示させる場合は、Kiosk Homepage に <http://localhost/Interface/> を指定してください。

Restart Kiosk:

本機の液晶ディスプレイに表示しているキオスクモード画面を再起動します。

5.2 Diagnostics

Diagnostics(診断)ページでは、本機のトラブルシューティングに役立つユーティリティーが提供されます。



5.2.1 System Information

このページでは、システム情報の確認、本機の再起動や工場出荷時状態へのリセットが可能です。

Diagnostics - System Information

Setup Diagnostics Files Logout

Firmware Version : RXT-8_0.1.4, Nov 21 2022

Serial Number : [REDACTED]

System Time : 01 December 2022 02:10:08 PM

Reboot System Factory Reset

File Space: 2% 98%
(Total: 3.7G) 3.5G free

RAM: 42% 58%
(Total: 1910832kB) 1114000kB free

Used Space Free Space

Network Settings :
[Go to Network Setup](#)

Network Port 1	
IP Address:	192.168.24.199
Subnet:	255.255.255.0
Gateway:	192.168.24.254
MAC Address:	[REDACTED]

IR Port Settings :

	Baud	Data Bits	Stop Bits
Port 1	115200	8	1
Port 2	115200	8	1

Serial Port Settings :

[Go to Serial Diagnostics](#)

	Baud	Data Bits	Parity	Stop Bits	Handshaking
Port 1	115200	8	NONE	1	0
Port 2	115200	8	NONE	1	0

Relay Port Settings :

[Go to Relay Diagnostics](#)

Port 1 OFF
Port 2 OFF

DIO Port Settings :

[Go to DIO Diagnostics](#)

Port	Direction	State
1	Direction output	low
2	Direction output	low

Real-Time EM Log :

Start

5.2.2 Serial Port Diagnostics

このページでは、本機シリアルポートの診断が行えます。

The screenshot shows the 'Diagnostics - Serial' web interface. At the top, there is a blue header with the title 'Diagnostics - Serial' and navigation tabs for 'Setup', 'Diagnostics', and 'Files'. A 'Logout' button is located in the top right corner. The main content area is divided into several sections: 'Serial Port:' with a dropdown menu showing '1'; 'Serial Receive History:' with 'Start', 'Stop', and 'Clear' buttons; 'Serial Send History:' with a 'Clear' button; 'Send String:' with a text input field and a 'Send' button; 'Add ASCII characters using code.' with an 'ASCII Chart' button; and two rows for adding characters: 'Hex (00-FF):' and 'Decimal (0-255):', each with an input field and an 'Add' button. A 'Serial Port Setup' link is also visible in the top right of the main area.

Serial Port

ドロップダウンリストから診断対象のシリアルポートを選択します。

Serial receive History

診断セッションの実行中に受信したシリアルデータが表示されます。

Start

診断セッションを開始します。

Stop

実行中の診断セッションを停止します。

Clear

右側に表示されているシリアルデータ受信履歴がクリアされます。

Serial Send History

診断セッションの実行中に送信したシリアルデータが表示されます。

Clear

右側に表示されているシリアルデータ送信履歴がクリアされます。

Send String

選択されているシリアルポートを経由して送信するシリアル文字列を入力します。

5.3 Files

本機の内蔵メモリにデータを転送する際は、パソコンの FTP クライアントソフトを使用して本機に FTP 接続し、データを転送する必要があります。このページでは、FTP 接続に関する情報を確認できます。また、本機の FTP サーバー内に保存されているデータの全消去を行うことも可能です。

File Transfer

Setup Diagnostics Files Logout

REAX Device File Transfer: Files are transferred to the REAX Device controller using FTP.

FTP (File Transfer Protocol) is a method of transferring files to a web server, such as the REAX Device. Most FTP clients allow a simple drag-and-drop interface for moving files between your computer, and the REAX Device. Core studio has an integrated FTP upload available for publishing directly to the REAX Device.

Windows Explorer is also capable of performing basic FTP transfers. While a full featured FTP client is suggested, you can use Windows Explorer to transfer by typing the following address in the address bar:

```
ftp://admin:password@192.168.24.199
```

Replace *password* with the appropriate information for your system.

For a full FTP client, we suggest FileZilla, which is a free and open source FTP client:
<https://filezilla-project.org/>

```
Host: 192.168.24.199
Username: admin
Password: ****
Port: 21
```

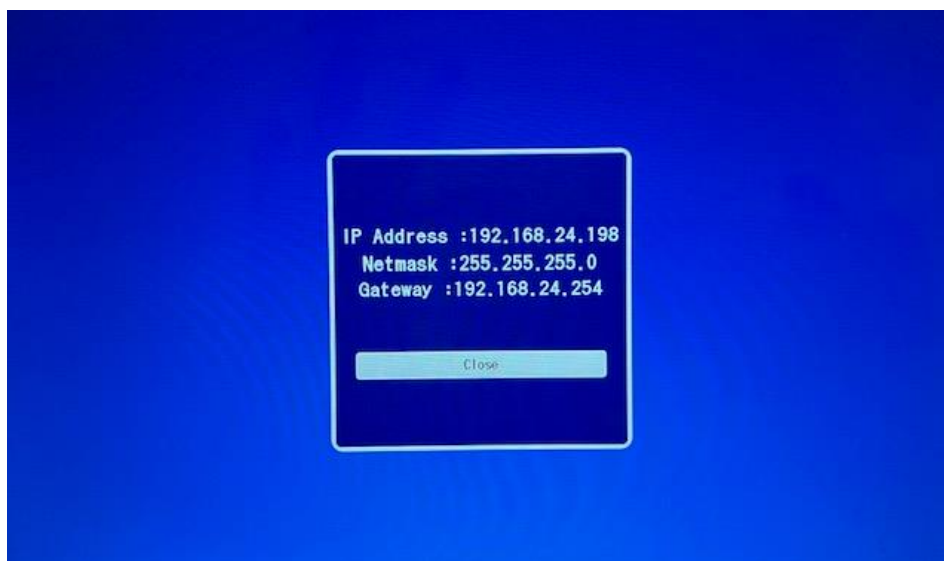
Resetting the file system: If you are running out of disk space on the internal disk, or if you would like to set the REAX Device back to factory defaults, you can click the button below to erase all of the User FTP files.

**WARNING: THIS OPERATION CANNOT BE REVERSED,
BACK UP ALL FILES BEFORE PROCEEDING**

ERASE ALL FILES

6 Kiosk メニュー

Core Studio プロジェクトが RXT デバイスにパブリッシュされると、ホーム画面は Core Studio プロジェクトでデザインされたユーザーインターフェースに置き換えられます。ユーザーインターフェースの画面上で左から右にディスプレイ幅の約 80%までスワイプすることで、本機のネットワーク情報を表示することが可能です。



7 製品仕様

	RXT-10VS	RXT-15VS	RXT-21VS	
プロセッサ	RK3399 Cortex Six core Processor 1.8GHz/1.4GHz			
RAM	4 GB DDR3			
ストレージ	32 GB			
オペレーションシステム	ReAX Core on Android 10			
制御 I/F	LAN	1 系統 10/100 イーサネット(PoE) (注 1) コネクター: RJ-45		
	最大消費電力	約 11 W	約 15 W	約 32 W
	外形寸法	258 (W) x 175 (H) x 27 (D) mm	392 (W) x 241.6 (H) x 29.6 (D) mm	597 (W) x 321.2 (H) x 35.5 (D) mm
	質量	0.70 kg	1.4 kg	3.8 kg
	温度	使用範囲: 0 °C ~ +40 °C、保存範囲: 0 °C ~ +60 °C		
湿度	20 % ~ 85 % (ただし結露なきこと)			

(注 1) 電力供給は PoE にて行います。AC アダプターには対応していません。

8 正常に動作しないときは

本機が正常に動作しない場合は、まず以下の点をご確認ください。また、本機に接続されている機器に原因がある場合もありますので、そちらの取扱説明書も参照しながらご確認ください。

- ・ 本機および接続されている機器の電源は投入されていますか？
- ・ ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・ ケーブルの接触不良はありませんか？
- ・ 本機に適合した正しいケーブルを使用していますか？
- ・ 接続している機器同士の信号規格は適合していますか？
- ・ 接続している機器は正しく設定されていますか？
- ・ 機器の近くにノイズの原因となるようなものはありませんか？

以上の内容を確認しても問題が解決しない場合は、弊社営業部までご連絡ください。

RXT-VS シリーズ取扱説明書

<ユーザーズガイド>

Ver.1.0.0

発行日：2023年11月13日



株式会社アルバニクス

本 社 〒242-0021 神奈川県大和市中心 7-9-1
TEL: (046) 259-6920
FAX: (046) 259-6930
E-mail: info@arvanics.com
URL: <http://www.arvanics.com>